ナンバリング	A②05	科目名	現代社会論＜各論＞ 「現代社会における子ども、家庭の支援」	担当教員	柴　田　敬　道
ディプロマポリシーとの関連性	③	担当形態	単独		
テキスト	適宜紹介する。	単位数 授業形態	4単位　演習	開講時期	通年

講義概要

■到達目標

虐待を始めとするおける子ども、家庭に関わる様々な問題を取り上げ、現実を直視ながらその背景である現代社会の課題を考察し、それらの課題にどのように立ち向かっていくのか、子ども、家庭の支援者としてのミクロからマクロに渡る視点を養う。

■授業の概要

【現状と課題】―家庭や社会での生活が困難になる子どもたちがいる。そうした子どもたちや家族を支える福祉制度を学びつつ、現代社会における「子ども」「家庭」の現状と課題をあぶり出す。（ビデオ教材等使用）
【現場の声を聴く】―児童福祉施設見学等を通し、現場最前線で携わる職員の生の声に触れ、更に理解を深める。
【支援の方法と技術、姿勢】―子どもや家庭、地域を支援するための具体的な方法と技術、そして支援者としての基本姿勢を、事例、ロールプレイングを通して考える。
※フィールドワークを重視する。最前線の現場で働く職員や当事者の声、事例等にできるだけ多く触れる機会を設定し、将来の保育士として子ども、家庭支援の実践につながる授業としたい。また、学内での授業はグループ討議を中心とした形式で進める。

【現状と課題】
第１回　オリエンテーション、授業内容の組み立て
第２回　現代社会における子ども、家庭①　虐待、DV、非行、不登校、発達障害等
第３回　現代社会における子ども、家庭②　虐待、DV、非行、不登校、発達障害等
第４回　現代社会における子ども、家庭③　虐待、DV、非行、不登校、発達障害等
第５回　現代社会における子ども、家庭④　虐待、DV、非行、不登校、発達障害等
第６回　現代社会における子ども、家庭⑤　虐待、DV、非行、不登校、発達障害等
【施設等の見学と見学先の事前学習】児童福祉施設、子育て支援施設等の見学、ゲストスピーカーのお話等。
候補：児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童自立支援施設、児童相談所、児童家庭支援センター、市町村児童家庭福祉担当部署、里親　…他
第７回　講義と施設等の見学①
第８回　講義と施設等の見学②
第９回　講義と施設等の見学③
第10回　講義と施設等の見学④
第11回　講義と施設等の見学⑤
第12回　講義と施設等の見学⑥
第13回　講義と施設等の見学⑦
第14回　講義と施設等の見学⑧
第15回　講義と施設等の見学⑨
【子ども家庭支援の具体的方法】
第16回　支援技術、方法の学習①
　　具体事例を通して、子ども、家庭の理解と支援技術、方法、多職種連携等を学ぶ。
第17回　支援技術、方法の学習②
第18回　支援技術、方法の学習③
第19回　支援技術、方法の学習④
第20回　支援技術、方法の学習⑤
第21回　各論のまとめ①　こども、家庭、地域社会へのアプローチ
第22回　各論のまとめ②　こども、家庭、地域社会へのアプローチ
第23回　総論の発表準備①
第24回　総論の発表準備②
※授業内容は流動的です。学生諸君の自発的学習を重視し、それに応えられるようにするためです。授業がどのように展開するかは学生諸君次第。追究したい個別テーマが浮上したら、それについて専門的学習に結び付くようサポートします。

■準備学習

・授業で指定した課題に取り組んだ上で、次回の授業に出席のこと。
・子ども家庭福祉領域について状況を理解すること。
・フィールドワークの際、積極的に質問事項を考えること。
・その他、必要に応じて課題の提示に取り組むこと。

■評価方法

・授業に対する意欲（討議への積極的な取り組み、発言内容）　― 40%
・レポートとその内容　― 20%
・施設見学への参加及び取り組み　― 40%

参考文献	小木曽・宮本・鈴木編「よくわかる社会的養護内容」 ミネルヴァ書房	特記事項	施設見学の交通費の自己負担があります。 【課題等のフィードバック方法】 提出されたレポートにはコメントを記入して必ず返却します。
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修	幼	
		保	教養科目
実務経験のある教員等による授業内容			